



お会式で山鹿城主一族を供養

合掌。新年あけましておめでとうございます。檀信徒の皆様におかれましては、

年頭のご挨拶

順境院 日攝

第三十四世



圓頓寺 たより

発行所
山鹿市山鹿55
圓頓寺
☎43-2424

旧年中、護持護法また菩提寺の隆盛に御尽力を賜り、誠にありがとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。

当山からの昨年分のご報告になります。長年の懸案事項でありました、境内地隣接の山鹿六二一一番地(二十六坪)を寺領として取得することが出来ました。参拝専用駐車場の利便性向上は、大変有意義なことであり、うれしいかぎりです。また先般にも、参拝専用駐車場として山鹿一七五〇一十一番地(二〇坪)も寺領に加わったことも併せてお知らせします。このたびの当

山主導での寺領拡充は、寺院及び檀信徒の共有財産が増えたことであり共々の喜びとすべき事柄になります。法灯継承記念事業で購入しました駐車場百五十坪を合わせますと、ここ五年程で二百坪余りを取得、寺領に加えることが出来たことにもなります。

この寺領拡充は、来る平成三十四年にお迎えする日蓮大聖人の御降誕八百年慶賛事業と、平成三十六年に控えた当山の開創四百年祭慶賛事業の一環であり、瑞兆でもあります。

さて、昨年八月二十五日の台風十五号ですが、当山も甚大な被害を蒙りました。先号の「圓頓寺たより」でも言及しましたように、耐用年数を超えた傷みが激しい本堂屋根瓦のため、百枚以



本堂屋根瓦破損の様子

上の落下と浮きが生じ、想像を超える雨漏りが起こり、清正公さまの御厨子、仏具等に雨漏りの水がかかり、多大な被害を受けました。山門と鐘楼堂の屋根瓦にも破損がありました。本堂屋根の応急修理後、時を経ずしての夏の豪雨の際には、鬼子母神さまの御厨子に雨漏りが発生し、これも被害にまいりました。近



鬼瓦などが落ちた鐘楼堂



シートで覆われた清正公さまの御厨子

「諸の衆生を見るに、
 生老病死・憂悲苦悩に焼
 煮せられ、亦、五欲財利
 を以ての故に、種種の苦
 を受く。又、貧著し追求す
 るを以ての故に、現には
 衆苦を受け、後には地獄、
 畜生、餓鬼の苦を受く。
 若し、天上に生れ及び人

法華経と御遺文の学習

年の豪雨に際には、慢性的な雨漏りが起こるのが常態となつていきますのが現状であります。
 当山としては、平成三十四年の日蓮大聖人の御降誕八百年慶賛記念事業と、平成三十五年の当山の開創四

百年祭慶賛記念事業として、一日でも早い本堂の改修を一大目標として、顧問・総代一同と会議を進めております。この趣旨に対し、檀信徒の皆様方の御理解と御協力程、切にお願い申し上げます。再拝。
 間に在つては、貧窮困苦・愛別離苦・怨憎会苦、是の如き等の種種の諸苦あり。
 衆生、其の中に没在して歡喜し遊戯して、覺えず知らず。驚かず怖じず。亦、厭うことを生さず。解説を求めず。

平成十七年度～平成三十四年度

りっしょうあんこく
立正安国・
 だいまくけちえん
お題目結縁運動

日蓮宗

お食事処

花見坂

HANAMIZAKA

山鹿市花見坂330～13 ☎ 44-6435



昨年の大寒寒修行

此の三界の火宅に於て
東西に馳走して、大苦に
遭うと雖も患とせず。」
『妙法蓮華経譬喩品第三』

大意を現代語にて説明してまいります。

私たちは、生老病死・憂い・悲しみ・苦しみ・悩みの熱によって、焼かれ煮られているようなものなのです。

また、欲望や煩惱のために、様々な苦しみを受けているのです。さらには、飽くなき貪りの心により、現世において、種々の苦しみを受け、来世でも地獄・餓鬼・畜生の苦しみを受けることになるのです。仮に天上界、人間界に生まれ変わっても、同じく、貧困や対人の苦しみを受けてしまうのです。

しかしながら、この様な現状にあっても私たちは、その渦中にありながら、逆に喜び遊び戯れて、苦しみの自覚さええないのです。驚くこと恐れること厭うこともありません。ましてや、仏様の教えも聞こうとしないのです。

私たちは、燃え盛る火宅のような世界にあって、空騒ぎをする始末。大きな苦しみにあってはいても、心



孟蘭盆お施餓鬼法要

配事ともしないのであります。

お釈迦さまの悟りの心からみれば、私たちは、燃え盛る家中に、その炎に気付かず暮らしていることにならるのです。この火宅から逃れるには法華経信仰以外に途はない、とお釈迦さまはお説きになっておられるのです。

つまり、この娑婆世界は、

JA鹿本(株)鹿本広域福祉センター総合葬祭会館
やすらぎの里

天 寿 苑

〒861-0535 熊本県山鹿市南島1246(山鹿大橋そば)

TEL. **0968-44-0983**

葬儀場・法事会館を併設した総合葬祭会館です

「**釈尊の因行・果徳の二法は妙法蓮華經の五字に具足す。我等この五字を受持すれば、自然に**

火宅であるということを感じ、法華經信仰により、火宅から脱し、眞の安穩の境地を会得しなければならぬことが肝要なのです。



大黒尊天五徳を唱和

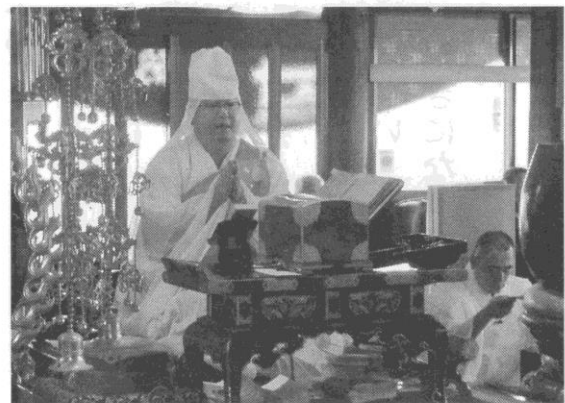
彼の因果の功徳を譲り与えたもう。」

『観心本尊抄』

次いで、日蓮大聖人の御文章です。現代語では以下の内容になります。

お釈迦さまの御存在と御遺徳の全てが、妙法蓮華經の五字に備わっています。だからこそ、凡夫である私たちでさえ、この妙法蓮華經の五字をきちんと受持信奉するのであれば、おのずと、お釈迦さまの御存在と御遺徳との大功徳を譲り与えられるのです。

だからこそ、お釈迦さまと同体の仏となることが出るのであります。末法における成仏の直道は妙法蓮華經以外にないのであります。



年末先祖総供養

お釈迦さまの事績と經典の全てを理解し、言葉で語りつくすことは、末法においては大難事であり、ましては、大慈悲心により、その全てを妙法蓮華經の五字に集約されておられるのです。つまり、私たちは、妙法蓮華經の五字の眞意を信解し受持することが、大切なのであります。



upward inc.

地域に密着した熊本の保険代理店

アップワード エスト保険

取扱生命保険会社

- アクサ生命 ■NKS.Jひまわり生命 ■アメリカンファミリー生命 ■大同生命 ■メットライフ生命
- 東京海上日動あんしん生命 ■オリックス生命 ■ソニー生命 ■エヌエヌ生命

取扱損害保険会社

東京海上日動火災保険

〒862-0965 熊本市南区田井島1-3-50 ガレリア2

Tel. 096-223-8105 FAX. 096-223-8106 email:esthoken@royal.ocn.ne.jp

心新たに一致結束を！



護持会会長 栗原辰也

謹んで新年のお慶びを申し上げます。檀信徒の皆様方には、ご家族お揃いで良き新年をお迎えのことと存じます。旧年中は菩提寺興隆にご支援、ご芳志賜りまして誠にありがたく、衷心より感謝申し上げます。また、年間の六大法要を始め、恒例の寒修行、婦人会、信行会、各種行事等に、護持会会員として、当番として、

前日の準備から、当日のお世話後片付けに至るまで、快く賄われ、ご奉仕いただき、そのご苦勞に心から感謝申し上げる次第であります。一方、護持会、地区世話人、墓地所有者、婦人会の方々には、お盆前、正月前の合同大掃除、注連縄作りに変ご苦勞をいただいたております。おかげさまで、境内等も立派に整い、これも皆様方のご奉仕の賜ものであります。ありがとうございます。さて、檀信徒の皆様におかれましては、すでにご承知のとおり本年度は、菩提寺本堂改修事業の初年度を迎えます。平成二十七年護持会総会において、本堂

の現状について住職より、また、これまで構造部材等を幾度か調査された井上顧問より説明を聞き納得され、二十八年度よりの、本堂改修の承認を満場一致で議決をいただき、その後、本堂改修準備委員会を設置し、二回にわたり協議を重ねて、改修に当たつての設計業者が熊本県下にはいないとのことで、福岡県大宰府市の「飛鳥社寺」さんに改修調査を依頼し、改修提案書の説明を受けたところでありました。説明によれば、圓頓寺本堂は、江戸時代後期の再建からこれまで、百七十五年以上が経過している。また、本堂屋根の改修だけでなく、柱や小屋組みを含めた構造的な大改修を行う必要があります。化粧部材等については、熊本県下ではあまり

有限会社 盛文社印刷

山鹿市下町1807
TEL 0968-43-2604
FAX 0968-43-6075

生活環境に、やさしい企業

水廻りの事ならすべてOK!

TORAYA SHOKAI

合資会社 とらや商会

TEL(0968)43-2212 FAX(0968)44-5990
〒861-0532 熊本県山鹿市鹿校通一丁目3番29号



年末先祖総供養の栗原会長

見ない立派な彫刻等が施してある由緒ある本堂であります。その説明を受け、先達の方々の誠心を受け継ぐことの大切さを悟ることができました。檀信徒の皆様方と共に一致結束して、この大事業に当たらなければと決意新たにいたしました。本堂改修期間は、一年四か月必要とのことでした。

檀信徒皆様方には、これから寒さ厳しい季節を迎えます。健康に十分留意され

年頭の



護持会会計 原文雄

謹んで新年のお慶びを申し上げます。檀信徒の皆様方にはお家族おそろいで、新春をお迎えのことと存じます。本年も、圓頓寺護持会運営に御理解と御協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

まして、お元気にお暮しいただきますよう御祈念申し上げます。合掌

ご挨拶

昨年を振り返りますと、台風十五号が熊本県荒尾市に上陸しました。檀信徒の皆様にも多大な被害を受けられた方もいらっしゃると思います。心からお見舞い申し上げます。住職の挨拶にありますとおり、圓頓寺も本堂屋根瓦・雨どい、鐘楼堂の鬼瓦や山門、墓地と駐車場のフェンスなどが破損し、清正公と鬼子母神様の御厨子はお家族、松尾上人らによりブルーシートで覆われ、雨漏り受けのバケツ、桶・洗面器、花瓶、くず入れなどは数十か所に置かれましたが、仏具、障子、壁、畳



拝む心で尊い品を

梅谷佛具店



仏壇・仏具・寺院用具
寺院納骨堂設計施工

本店

〒812-0027 福岡市博多区下川端町10-9
TEL (092)271-0456・FAX (092)271-0464

支店

〒819-0373 福岡市西区周船寺3-9-4
TEL (092)806-7499・FAX (092)807-1079

◆E-mail umetani@umetani-jp.com

◆HP <http://www.umeyani-jp.com>



年頭の

などが雨漏りの被害を受けました。

また、暖冬などの天候不順で野菜類が下落し、時期によつては高騰した種類もあり、消費者の皆様にとつても、農業をしている私たちにも悲喜こもごもの一年でした。今年も、冬は冬らしく、夏は夏らしく、季節感のある天候になってほしいと願っています。

本年は、本堂の改築等を行う準備委員会から建設委

ご挨拶

婦人会会長 瀬口ミズ子

謹んで新年のお慶びを申し上げます。檀信徒、婦人会の皆様のご家族のご健勝をお祈りいたします。年間の六大法要「奉仕地区」の皆

員会等でよく話し合い、少し強い雨のたびに雨漏りする本堂の改築に向けて、準備を進めなくてははいけません。

護持会は、皆様の会費により運営されています。お寺は、私たちの御先祖様の御霊を供養するところだと思えます。今年も、檀信徒の皆様のお協力により護持会費の納入をよろしくお願ひ申し上げます。

南無妙法蓮華經

様にはお忙しい中、毎回ご参加いただきお世話になりました。御礼申し上げます。

日蓮大聖人は、伊豆法難、松葉谷法難、龍口法難、佐渡法難、小松原法難と法難が多数ございました、それをひとつひとつ乗り越えられ、最後は身延山・久遠寺で九年間過ごされましたが、病気が重くなられ身延山を降りられました。それぞれ法難は法難会として供養・法要がございまして、日蓮大聖人のありがたさをしみじみと感じました。

この度、第二十九回管区檀信徒研修道場があり、圓頓寺から四人が参加致しました。いつもは熊本市の本妙寺で行われますが、今回は南阿蘇村の「アソシエート」で行われました。阿蘇山は噴火いたし立ち入り禁止

航空券・JR・個人旅行・団体旅行

株式会社 **ワールド観光**

TEL 0968-72-5656

玉名市中尾426-3

であり、白い雲も一杯であり登山はできませんでした。

研修道場の日程は、初日の第一講は熊本市本励結社教導・山口義人上人、第二講は高森町本城寺住職・守本崇覚上人でありました。翌日は、第三講は熊本市妙行寺住職・桑田尊弘上人、第四講は熊本市妙正寺副住職・竹迫裕恭上人でした。四人のお上人様の講話を聴き、

自分の修行がまだ足りないと感じました。

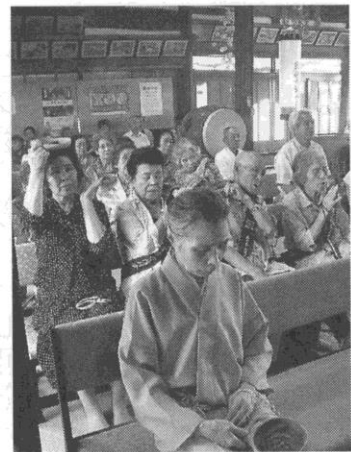
また、本年もいろいろな法要・行事がございますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

婦人会は、人数が減少し、高齢化しています。婦人会への入会をお勧め申し上げます。新年のご挨拶と致します。南無妙法蓮華經

ほうろく灸祈禱会 お盆お施餓鬼法要

平成二十七年土用丑の日の七月二十四日、「お盆お施餓鬼法要・ほうろく灸祈禱会」が行われ、暑い盛りでしたが多くの檀信徒の参詣がありました。

ご案内では受付は午前九時からとなっていますが、すでにかなりの方が受付を済ませておられ、熱心さが伝わります。お手伝いのお坊さんがほうろく灸の準備をされています。午前九時三十分、一回目のほうろく灸祈禱会が英人上人の秘法により始まり、祈禱申し込みの方がほうろく灸を身体それぞれのところにあてていました。ほうろく灸とは、ほうろく（焙烙）素焼きのお皿（にお灸を盛り、火をつけ、頭や肩、肘、腰、膝など身体の痛むところにあてて、諸病をやわらげ、頭痛封じの祈禱を致します。ほうろく灸祈禱会が終わり、荒尾市・妙功寺御住職「高田賢聖」上人による法



ほうろく灸を膝、頭、肩にあてて



郷土に生まれて味ひとすじ



仏・祝会席・鉢盛・寿司

プラザ店 ☎ 44-4743 ☎ 43-1739
中町店 ☎ 44-0055
仕出部 ☎ 44-5804



高田上人の法話

話が行われました。高田上人は、お題目三唱後、通信販売大手になぞらえながら、圓頓寺にお邪魔するのは二回目。一回目は平成二十年でお坊さんになって二年目だったことなど、ユーモアを交えて自己紹介されて、法話に移られました。

土用丑の日はウナギとなるかと思うが、由来としては、平賀源内が友人の魚屋に相談されたこと、丑から「う」の付くものを食べる

民間信仰などが紹介されました。また、土用は立春、立夏、立秋、立冬の前十八日間をさし、節分ともいい、冬から春への節分が有名。十八日間の内の丑の日を、土用丑の日といい、年に五、六日ほどあるそうです。（昨年、今年は六日です）。

ほうろく灸は、鎌倉時代は有効な医療手段であり、日蓮大聖人の御遺文にも書いてある。お盆お施餓鬼法要は、無縁仏へ徳の供養を手向けることも話されました。

法話は続いて、お祖母さんが孫（娘さんの男の子）を育てた話に移りました。男の子は木柁に合わせてお上人の頭をたたいたり、言葉が出ない、話ができないでお祖母さんは悩んでいた。三歳の時保健所に相談し、心療内科を受診して自閉症



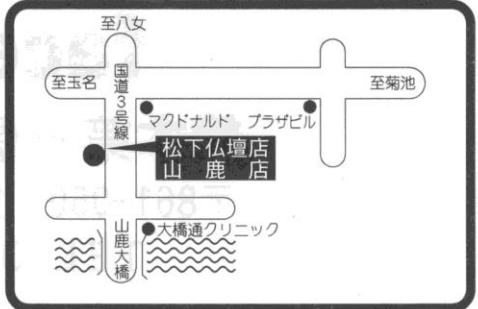
唱題行する参詣者

と診断された。病気に負けないよう医療と信仰で頑張っていたいきましよう。と一緒に唱題行をしようとして毎週唱題行を続けた。お題目を唱えた。半年後男の子は、お上人の隣に座り木柁をたたき、南無妙法蓮華経と言っていた。言葉もはつきりした。お祖母さんは涙目の笑顔をした。娘を恨み、自分本位だったが、他の子どもと比べる

仏壇・仏具専門店
まつした
株式会社 松下仏壇店

- 大牟田本店**
大牟田市上町2丁目2 上官通り
☎0944-56-3675
- 熊本店**
熊本市中央区上水前寺1-12-12 (東バイパス熊工前)
☎096-384-5666
- 玉名店**
玉名市中平畑1832 玉名高校入口
☎09687-4-4840
- 山鹿店**
山鹿市大橋通り404
☎0968-43-5665

●仏具のご注文がございましたら、多少にかかわらず配達いたします



気持ちはどうでもよくなつた。お礼を言つて仏壇に手を合わせた。一心・無心にお題目を唱えた。それが孫に伝わった。今は五年生となり元気に学校に通っている。と法話を結ばれ、お題目三唱で法話を終わられました。法話の後、総代さんの挨拶・休憩をはさんで、盂蘭盆お施餓鬼法要が、住職上人

日蓮大聖人
山鹿城主一族を供養
お会式法要

去る十月十三日、秋晴れ爽やかな中、当山のお会式法要が厳かに奉修されました。

お会式とは、日蓮大聖人の御祥当の御命日に執り行う大切な法要です。鎌倉の御代、末法の日本

を導師に、院首上人ら六名のお上人様のご出仕で行われ、読経の中、住職上人が導師席で、檀信徒が申し込んだ宗祖日蓮大聖人報恩供養、先祖代々供養など特別祈禱をされ、本堂ではお上人、檀信徒の御先祖を敬う祈りが満ちていました。

(編集委員・谷)

国において、お釈迦さまの唯一真実の教えである法華経を、御題目として不惜身命の壮志をもって死身弘法されました日蓮大聖人の御遺徳に対し、報恩感謝を申し上げることが、御会式の本義であります。だからこ

そ、当山の六次行事の中でも、最も大事な法要にあたります。

当日は、御会式法要に先立ち、秋の御彼岸の先祖供養の法要を営みました。



大平上人の法話

次いで、一日伝導講師として、遠路広島市より龍華寺・大平貫脩上人の御法話を頂戴しました。全国で御説教師として御活躍されておられるとおり、身近な話題を交えながら、分かり易

この街と生きていく
face to face

熊本第一信用金庫 山鹿支店

〒861-0501 熊本県山鹿市山鹿1616-7

TEL 0968-44-4125